

レースにあたっての審判上の諸注意

第63回九州朝日レガッタ

H28. 5. 28~29

本大会は、公益社団法人日本ボート協会競漕規則及び本大会実施要項に基づいて運営します。特に、次の事項に注意してください。

1 健康管理

健康管理に十分留意してください。出艇後の体調悪化は必ず、最寄りの審判員・役員に申し出てください。

2 事故防止

- (1) 回漕中及び練習中には、航行ルールを厳守して安全には十分留意してください。
- (2) コースの近くを回漕するクルーは、競漕艇の1.00m手前から競漕が通過するまで競漕水域の外側で停止してください。ただし、コースから離れた練習水域では、このルールを適用しません。

3 舵手計量

- (1) シェル艇の舵手の体重は、ユニフォームを含めて男子55kg以上、女子50kg以上です。これに満たない場合、最大10kgのデットウェイトを舵手の最も近いところに置く必要があります。
- (2) 舵手は、出漕日毎に最初のレースの2時間前から1時間前までに、レース時の服装で体重の計量を受けてください。舵手計量所は、本部テント横の審判控え所です。時間を厳守して計量を受けてください。呼び出し等は一切行いません。
- (3) 舵手計量を受けなかったクルー、規定の体重に満たないコックスのクルーは出漕できません。
- (4) ナックル艇の舵手の体重制限はないので、計量は行いません。

4 監視

本大会では、監視は行いません。

5 服装

- (1) クルーは出漕に際し統一した服装を着用してください。
- (2) 帽子、鉢巻については、着用する・しないの混在は認められますが、着用する場合は、全員が同じもの（色、柄、デザイン、方向）を着用してください。

6 発艇位置に向かうためのコースへの進入

- (1) 審判員（発艇員）から“呼び込み”あってから、待機水域（練習水域の発艇側）からコースへ進入してください。“呼び込み”の前に、勝手にコースに入らないでください。
- (2) “呼び込み”は「レースNo.」、「種目」、「クルー名」、「レーン No.」、「発艇時刻までの時間」の順にコールします。（複数クルーを呼び込んで、時間をアナウンスすることもあります。）
- (3) 各艇は、発艇定刻2分前までに発艇位置（ステッキボート）に着けてください。
- (4) やむを得ず遅延するクルーは、あらかじめその理由を最寄りの審判員に申し述べ審判長の許可を得てください。

7 発艇合図

- (1) 発艇合図は発艇員の赤旗とスピーカーからの音声号令としますが、音声号令は風・機器の具合等で途切れることがあります。発艇員が頭上に掲げた赤旗の動きを注視して、赤旗が動いた瞬間に発艇してください。
- (2) 発艇前に、艇首がゴール方向に正しく向いていない場合は、発艇員が「〇〇、方向を正しなさい。」と注意をすることがあります。
- (3) 風や波が強い場合、“クイックスタート”で発艇する場合があります。
- (4) 届けがなくて遅れているクルーを待たずに発艇する場合があります。

8 発艇猶予の不可

- (1) 各クルーは、発艇2分前の号令がかかった時点で、いつでも発艇できるよう準備をしておいてください。
- (2) いったん発艇員が“ロールコール”を始めたら、挙手等による発艇の猶予は認めません。艇首の方向を定めて、いつでもスタートできる体勢にしておいてください。
- (3) 発艇号令で発艇しなかったクルーは、競漕権を放棄したものと見なします。

9 レース中の注意

- (1) 発艇後、艇や装備の故障や破損等に対する救済措置はしません。出艇する前に十分点検しておいてください。
- (2) レース中のクルーが、自己のレーンから外れて自艇を有利にしたり、他艇を妨害するおそれがある場合、主審は警告を与えます。この時主審は白旗を掲げて、当該クルー名をコールし、進むべき方向へ白旗を倒します。警告を受けたクルーは、直ちに自己のレーンに戻ってください。
- (3) レース中、主審は重大な危険が迫っているクルーに対して、白旗を掲げ、「〇〇止まれ！」とコールし、当該クルーのみを停止させることがあります。そのクルーは危険を回避した後に、再びレースに復帰してください。
- (4) レース中、極端に遅れたクルーを主審艇はやむを得ず追い越すことがあります。この場合、追い越されたクルーは主審艇の波をかぶることがありますが、忍んでください。

10 レース中の落水

- (1) いかなるクルーも定員を欠いて出漕することはできません。レース中に不可抗力により漕手が落水しても、そのクルーの着順を認めます。ただし、漕手が自分の意思により飛び込んだと認められる場合、そのクルーは除外とします。又、舵手を欠いてゴールしたクルーは故意・過失を問わず除外とします。
- (2) シングルスカルにおいては、落水後自力で乗艇して決勝線を通過した場合は着順を認めます。ただし、再乗艇の意志を示しても、次のレースに支障がある場合、又は安全上問題があると主審が判断した場合は、当該クルーを救助します。この場合、当該クルーは棄権となります。

11 レース終了後

- (1) 決勝線を通過したクルーは、主審が白旗を掲げるまでゴール付近で待機してください。
- (2) レースに対して異議がある場合は、主審が白旗を掲げる前に漕手又は舵手が手を挙げて申し出てください。
- (3) 主審が白旗を掲げた（レース成立した）場合、クルーは上陸できます。主審が赤旗を挙げた場合は、レースが正常でなかったことを示すので、主審から指示があるまでその場で待機してください。

12 無線通信機器等の使用禁止

艇内に無線通信機器（携帯電話を含む）を持ち込むことはできません。違反クルーは失格となります。

13 その他

- (1) 「メンバー変更」、「ブレードカラー変更・不統一」、「棄権」等の届けは、責任者の署名のある文書によって当該レースの開始1時間前までに競漕委員会へ届け出て、承認を得てください。
- (2) 本大会では、艇計量は実施しません。
- (3) 落水時にすぐに靴が脱げるように、靴の紐は締めすぎないでください。又、転覆時に手を使わずに靴が脱げるように、必ずストレッチャーの靴のかかとに紐を付け、適当な長さ(約7cm程度)に調整して固定してください。
- (4) 昨年度より、大会中に使用する専門用語が、下記①～⑤のように変更されています。

記

- | | |
|---------------|-----------------------|
| ① ウォーターマン | → 「ボートホルダー」 |
| ② トップボール | → 「バウボール」 |
| ③ レーンナンバープレート | → 「バウナンバー」 |
| ④ フライイング | → 「フォルススタート」 |
| ⑤ ゴール（ゴールライン） | → 「フィニッシュ（フィニッシュライン）」 |

以上